

秋田県議会議員一般選挙
(南秋田郡選挙区)

選挙公報

平成31年4月7日執行
秋田県選挙管理委員会

ともに、進もう。— 南秋田の元気と笑顔のために —

県庁での行政経験を活かし、即戦力として地域のために働きます。

- 01. 「秋田で働きたい、起業したい」の創出へ
多様な人材を巻き込む“地域の未来づくりの場”を足がかりに、誰の目にも魅力的に映る仕事環境をひろげます。
- 02. 明日への希望がもてる秋田経済へ
あらゆる分野における潜在成長率を底上げするとともに、意欲ある担い手の確保、雇用・所得環境の改善に努めます。
- 03. 女性が活躍、安心できる子育て秋田の実現へ
仕事と子育ての両立支援や、地域全体で子どもを育てていくという意識の醸成により、パパ・ママの負担を減らします。
- 04. 「ずっと秋田で暮らしたい」の促進へ
地域に住んでいる人みんなが心を通い合わせながら、安心して住み続けられる地域づくりを進めます。

昭和34年4月6日井川町小泉生まれ。井川小学校、秋田大学附属中学校を経て秋田県立秋田高等学校を卒業。昭和56年に秋田県庁入り。障害福祉、職員採用、消費者啓発、農業、青少年育成、商業・サービス産業などの担当を経て、少子化対策推進監に。また、総務部参事兼広報広聴課長として県政の情報発信・PRを行いました。最後は自治研修所長として、県と市町村職員の人材育成に努めました。平成31年1月退職。



鈴木まみ

深刻化する人口減少問題に
歯止めをかけるため、更なる
移住定住・女性や若者の
活躍を推進いたします!

私たちが生活していくには沢山の課題があります。
その課題ひとつひとつに真摯に向き合って、
より良い秋田、そしてなによりも南秋地域の発展のため
今後もコツコツと頑張っております!



「高質な田舎」を目指します。

安心できる暮らしを!
医療・福祉・介護の充実

秋田の基幹産業を守る!
農林・水産業振興

自然災害に強い地域づくり
安全・安心防災の構築

次の時代を担う子供たちのため
教育の再構築

安心して産み育てるための
子育て支援の拡充

道路・河川・橋・住宅などの
住環境の整備

美しい自然を守る!
八郎湖環境保全

国・県・町村・民間が
一丸となって
より良い街づくりを
目指します。

皆さんが楽しく生活していくための
活気あるコミュニティの増進

地域や組織をまとめていくための
人材育成の充実

病院や買い物に困ることのない
交通手段の確保



ひらやま
晴彦

ひらやま晴彦プロフィール

| これまでの県議会における略歴 | | |
|------------------|------------------------|--------------------|
| H19年 5月～ 建設交通委員長 | H25年 5月～ 議会運営委員長 | |
| 昭和30年1月4日生まれ | H21年 5月～ 学術教育公安委員長 | H27年 5月～ 県監査委員 |
| 能代高等学校卒業 | H22年 4月～ 教育公安委員長 | H29年 5月～ 建設委員 (現在) |
| 玉川大学工学部経営工学科卒業 | H23年 5月～ 総合防災対策推進特別委員長 | |

秋田県議会議員一般選挙

投票日 4月7日

投票時間：午前7時～午後8時

期日前投票 / 不在者投票

3月30日(土) ～4月6日(土)

- 投票時間は投票所により異なる場合があります。
- 投票所・投票時間の詳細については、ご家庭に送られる投票入場券をご覧ください。各市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。



秋田県選挙管理委員会 / 秋田県明るい選挙推進協議会

選びたい秋田のこれからわたしの将来

県議選

4月7日



子どもと一緒に選挙に行こう

投票所には18歳未満の子どもと一緒に入場することができます。総務省が18～20歳の男女3,000人に行った調査では、子どもの頃に親の投票についていったことのある人は、ついていったことがない人よりも、投票に行った人の割合が高いという結果が出ています。親子連れ投票は子どもの将来の投票につながっています。

秋田県議会議員一般選挙
(南秋田郡選挙区)

選挙公報

平成31年4月7日執行
秋田県選挙管理委員会

秋田県議会議員一般選挙

投票日
4月7日

期日前投票 / 不在者投票
**3月30日(土)
~4月6日(土)**

投票時間：午前7時～午後8時

- 投票時間は投票所により異なる場合があります。
- 投票所・投票時間の詳細については、ご家庭に送られる投票入場券をご覧ください。



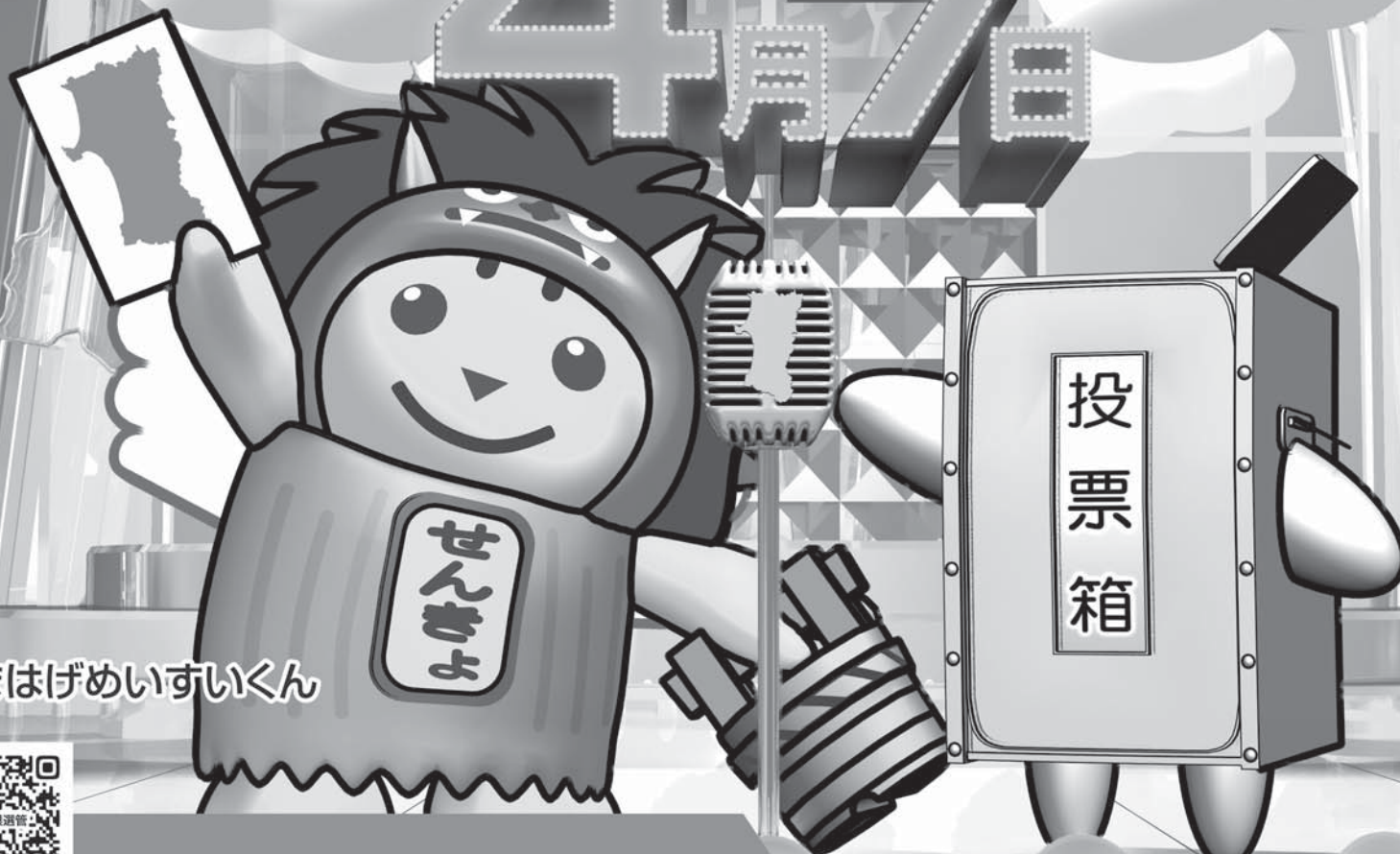
子どもと一緒に選挙に行こう

投票所には18歳未満の子どもと一緒に入場することができます。総務省が18～20歳の男女3,000人に行った調査では、子どもの頃に親の投票について聞いたことのある人は、ついていったことがない人よりも、投票に行った人の割合が高いという結果が出ています。親子連れ投票は子どもの将来の投票につながっています。

選びたい 秋田のこれから わたしの将来

県議選

4月7日



なまはげめいすいくん



秋田県選挙管理委員会 / 秋田県明るい選挙推進協議会